

北海道から 岩手県へ

氏名 山崎文隆

北海道稚内養護学校(北海道拓北養護学校) → 岩手県立盛岡みたけ支援学校
(期間：平成28年4月1日～平成30年3月31日)

盛岡みたけ支援学校・二戸分教室

岩手県のほぼ中央に位置し、盛岡市に高等部校舎、滝沢市小中学部校舎、一戸市に奥中山分校舎、そして二戸市には小中高等部の分教室があります。

小学部から高等部まで、276人児童生徒が通学しています。学校周辺は、住宅地が広がり東北新幹線沿線にある市です。盛岡市近郊には北上川、一戸、二戸近郊には馬淵川が流れ自然豊かな街です。二戸分教室は、岩手県の北部に位置し二戸市内には、各小中高学部はそれぞれの学校に併設されています。小学部は二戸市立石切所小学校内に併設されています。



1 派遣先の学力向上等の取組

「共に学び、共に育つ」個に応じ 絆を深め 地域に生きる 子どもたち

○盛岡みたけ支援学校二戸分教室 小学部の取組

- ・二戸分教室小学部は、二戸市立石切所小学校内に併設されています。石切所小学校は、児童数209名、二戸分教室小学部は1年生から6年生まで30名です。教室以外、全て小学校と共用しています。例) 児童玄関、体育館、トイレ、給食配膳室等

<インクルーシブ教育の取組>

～ 石切所小学校 共に学ぶ ～

○運動会

石切所小学校との合同の運動会では、紅白に分かれ合同で入場し、開会式、ラジオ体操、徒競走、つなひき、ダンス、玉入れ、チャンスレース、最後に閉会式と、終了の15:30まで、全ての競技に石切小の児童と共に参加しました。全力を尽くしてがんばる児童の姿と共に同じく全力で取り組んでいる石小の子どもたちのパワーに感謝。共に生きる子どもたちの力に感動しました。



～石切小学校 伝統文化継承への取組～

○学習発表会

石切小学校との合同の学習発表会では、1年生から6年生まで各学年と一緒に取り組んでいます。学習発表会では、各学年の劇、(特に6年生の地域の偉人をテーマにした劇「小野三十郎物語」)、郷土芸能「深山神楽」、合唱「1/2成人式」など力を合わせて一緒に素晴らしい発表を行うことができました。各学年の担任が事前に話し合い、分教室の子ども達の実態に合わせた活動場面を設定していただき協力して発表することができました。その中で、分教室の子ども達への関わり方や理解が深まりました。

～石切小学校と共に学ぶ 上記以外にも～

- 入学式・卒業式 ○プール学習 ○クリスマス会 ○宿泊学習、修学旅行
○避難訓練 ○スポーツ集会 ○6年生を送る会

<二戸分教室小学部の取組>～ふるさと、地域に根ざした教育～

○郷土と食育

給食に、年に数回、郷土料理や食材がオール岩手県産二戸産を使ったメニューが提供されました。例) お米、味噌、塩、野菜、肉、果物、牛乳等で、まさに地産地消、地元の食材を食べて元気に育つ子どもたち。この時期は、県内産に感激です。

○りんご狩り (他: バス遠足、買い物学習、スケート教室など)

毎年楽しみにしているりんご狩りは、二戸市近郊の金田一温泉で行われました。小・中学部の児童生徒、保護者、地域の方々と一緒に毎年11月に直接木の枝からりんごを収穫しました。地域と共に教育力向上を活かした取り組みを行っています。

○小学部3年生から実施の宿泊学習

二戸市内近郊の宿泊施設を利用し、小学部3年生から家庭を離れて、一泊する経験はあらゆる面から、大きな成長を促すものです。社会的自立に向けた取組として、生活経験の拡大や社会経験の育成の基盤づくりです。

<交流及び共同学習への取組>

○身近な地域社会で一人一人の教育的ニーズに応じた交流学習に参加しました。全ての子どもたちが一緒に活動

する機会や社会性、豊かな人間性を育み、生き生きとした活動が図られています。



2 北海道に戻って実践したいこと

○児童生徒主体の授業作り・一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実

自立や社会参加に向けた主体的な取組を行い、実践を生かし、特別支援学校でより具体的な自立に向けた丁寧な支援を重点に取り組みます。

○地域社会の伝統文化を生かした教育の充実

家庭や地域社会との信頼関係づくりを積極的に進め、それぞれの教育のあり方を見直し、家庭や地域の教育力が学校の教育力を高め、学校の教育力が家庭や地域の教育力を高める双方向の連携の構築を目指します。また、地域社会との対話を重点に、「地域のために」を視野においた教育活動を通して、学校教育と地域社会の教育力の向上を図ります。